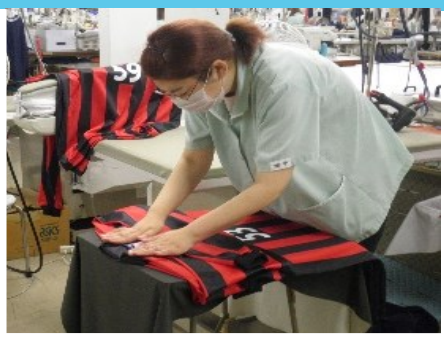
キラッと光る技術で勝負する地域企業の取り組みをご紹介します。

平成 26 年度

元気企業だより

～がんばれおおむた企業！元気発進！！～



紹介企業

◆アシックスアパレル工業(株)大牟田工場
◆お菓子のキタハラ
◆東成エレクトロビーム(株)九州事業所
◆まちなかシリコンバレー
◆(有)大創工芸

～補助金獲得、技術相談など、企業活動を支援します～

公益財団法人 大牟田市地域活性化センター

TEL：0944（56）1717
Email：info@ecosanc.or.jp
URL：http://www.ecosanc.or.jp/tiiki/

大牟田元気企業紹介 Part1

アシックスアパレル工業株式会社
大　牟　田　工　場

大牟田からオリンピックへ！世界へ！！

　市民の皆さんは大牟田の工場で、オリンピック日本選手のユニホームが作られていることを知っていますか？
　当財団は、今年から市民の皆さんに、市内で「ものづくり」に従事されている元気企業を紹介するコーナーを開始しました。
　その第一回目が**「アシックスアパレル工業株式会社」**です。今回は、取締役統括部長 西原哲也さんにお話を伺いました。

アシックスアパレル工業って？

　皆さんよくご存じの株式会社アシックスの国内関連会社として、特注品を中心に製造している国内有数の会社です。
　アシックスのグループ企業 53 社（国内 13 社・海外４０社）とともに、世界中の多くの皆さんのスポーツシーンをしっかりとサポートしています。

大牟田工場の操業はいつから？

　1973 年（昭和 48 年）５月創業です。以来、スポーツウェアの生産工場として、地域社会とともに発展することを念頭に確実に成長してきました。
　その意味でも、地域の高校生の定期採用を行っています。

社名「アシックス」の由来は？

　創業哲学である「Anima Sana In Corpore Sano」の頭文字を取って「ASICS」、これはラテン語で「健全な身体に健全な精神があれかし」と言う意味です。

ご自慢の商品は？

　当社は、陸上競技をはじめとするオリンピック日本選手のユニホーム等の特注品製造工場です。
　野球では、中日ドラゴンズ、サッカーではヴィッセル神戸、ベガルタ仙台のユニホームは当社の製品です。
　有名な選手としては、野球のダルビッシュ投手や卓球の石川佳純選手とアシックスが契約しています。実は、あのイチロー選手のシューズも、アシックスの製品です。
　シドニーオリンピック女子マラソンで、高橋尚子選手が当社のウェアを着て力走している姿をテレビ観戦した時は、何だか誇らしい気持ちなったことを覚えています。

海外にも進出されていると聞きましたが？

　グループ企業としてラグビーのユニホームに力を入れる方針です。ラグビー世界ランキング２位の南アフリカ共和国でウェアを生産しており、今年１月に大牟田工場から指導に出向きました。

今後の抱負を何か一言？

　製造分野の海外移転が進んでいますが、当工場は日本ものづくりの DNA を継承するマザー工場・技術拠点として継続していきます。
　そのため、多品種少量生産･短納期、さらなる技術革新に対応しています。

＜大牟田工場の概要＞

創　　立　昭和 48 年５月
従業員　100 名
売　　上　1,060 百万円（25 年度）
所在地　大牟田市合成町 88 番地
代表者　取締役統括部長
　　西原　哲也

大牟田元気企業紹介 Part2

お菓子の キタハラ

“黒”を追及する菓子店「キタハラ」

お菓子のキタハラでは、石炭の“黒”をイメージしたお菓子作りに取り組んでいます。きっかけは、大牟田商工会議所が企画した「大牟田特産品開発プロジェクト」でした。みかん生産者や同業者など、みんなの試行錯誤や苦心を重ねながら、農商工連携に取り組みました。

このプロジェクトにより「くろころみかん」が生まれ、そのノウハウを生かして「黒糖どらやき」「かりんとう饅頭」などの逸品ができました。「くろころみかん」は、東京のイトーヨーカ堂、小倉駅構内サトウ食品、福岡岩田屋等で市外注文販売を行っています。

お菓子キタハラの歩みは？

今年創業 55 年を迎えました。創業者である先代は、もともとお茶席などで使われる上生菓子を作る小粋な和菓子職人で、柳川の菓子屋を転々と渡り歩いていました。結婚を契機に自分の店を持つことを決心し、吉野で開店しますが、当時は、上生菓子が売れるような環境ではないと考え、蒸し饅頭を新たに考案して売り出しました。これが評判となり、次第に業容を大きくして現在に至っています。

私が、二代目として引き継いで 26 年になりますが、やがて 80 歳を迎える先代は今でも毎日 1 時間ほど出勤しています。最近は、子供たちも手伝い始め、親子孫３代で頑張っています。

自慢の売上 No.1 は？

現在 50 種類ほどのお菓子を作っていますが、当店の売上 No1 は「生ロールケーキ」です。

そこで取材の後で、スタッフに食べてもらった感想は、「生地がサクサクとして軽く、生クリームがあっさりして美味しい、しっとりを売りにしたロールケーキは多いが、これはめずらしい」ということでした。みなさんもぜひご試食下さい。

東京ビッグサイトへも出展されたとか？

平成 22 年から 24 年まで 3 年連続して、国際見本市・東京インターナショナルギフトショー「feel NIPPON」に出展しました。それを契機に NHK、RKB、KBC、FBS 等、10 件以上のテレビ番組で取り上げられ、ラジオ、新聞、雑誌にも掲載されました。おかげさまで、ネット販売や外部の大手流通店での注文販売など外部販売の手立てがつきました。

今後の意気込みを一言！！

一番は、地域に根差したお菓子作りを続けたいと思っています。三代目も頑張ってくれていて、これまで開発した外部販売網を新たな製品作りを通じて充実したいと考えています。

市の補助金などを活用した新製品「くろころ果実」が間もなくお目見えします。

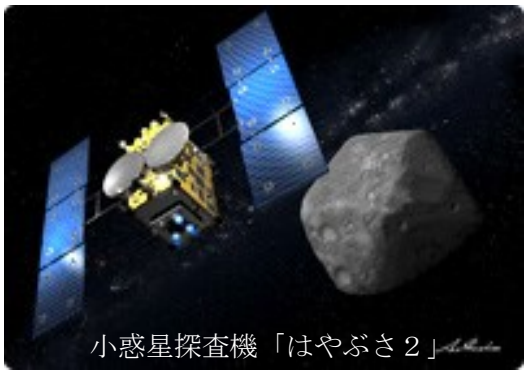
＜店舗連絡先＞

所　在　地　大牟田市大字吉野 877-11
TEL･ファクス　0944-58-0915
e－mail　kitahara-sweets@psc.bbiq.jp
社　　長　北原　洋二

大牟田元気企業紹介 Part3

東成エレクトロビーム株式会社
九　州　事　業　所

宇宙へはばたく！！


小惑星探査機「はやぶさ２」

みなさんは、小惑星探査機の「はやぶさ２」をご存じですか？

2014 年 11 月に打ち上げ予定の「はやぶさ２」の非常に重要なパーツに、大牟田テクノパークにある**東成エレクトロビーム**が手掛けた製品が搭載されていることを知っていますか？

宇宙にはばたく**「東成エレクトロビーム株式会社」**を大牟田元気企業だより Part3 でご紹介します。

重要なパーツとは？

「はやぶさ２」の使命は、４年をかけて３億ｋｍ先の小惑星 1999JU$_3$ へ着陸し、星のサンプルを持ち帰ることです。地下の物質をサンプルとして持ち帰るためには、小惑星表面に、ある物体を衝突させ直径数メートルのクレーターを作る必要があります。

この衝突物の部品を東成エレクトロビームで作っています。その“衝突物”の正面と側面の画像が右の写真です。正面は直径約 30cm の銅板がステンレスの枠に電子ビームで溶接されています。この円錐（えんすい）状の部品の中に火薬が装填されており、小惑星の近くに来た時に爆発させると、その衝撃で銅板が球状に変形し、秒速 2km の速さで小惑星表面に激突してクレーターを形成するのです。

「はやぶさ２」衝突装置試験については、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の HP のデジタルアーカイブスをご参照ください。（アドレス: http://www.jaxa.jp/index_j.html）

東成エレクトロビームとは、どんな会社ですか？

「できない加工も電子ビーム溶接で可能に！**“技術者の駆け込み寺”**」が当社の方針です。当社は、電子ビーム溶接やレーザーを使った溶接、切断、穴あけ、表面改質溝加工などを手掛ける企業です。

特に電子ビーム溶接は業界第一人者として知られ、自動車、ロケット、航空、医療、ロボット、油田開発等のさまざまな分野で重要特殊部品の開発・試作・製造をしています。

左の写真は電子ビーム溶接の様子と、製品のひとつである銅とステンレスの複雑な構造物です。

大牟田市への進出の理由は？

当社は、1977 年に東京都西多摩郡で、電子ビーム溶接機を導入し事業を開始しました。

その後、福島に工場を拡張するなど、東日本を重点に事業展開を実施していました。

2010 年代に国内企業の海外進出が活発な時期、当社は各業界に共通の基礎的な技術は日本全国で展開するべきという考えで、西日本への進出を決定し、大牟田市に九州事業所を設立しました。

今後の抱負を何か一言？

弊社には、モノづくりに欠かせない技術（精密溶接）があり、様々な分野で適用されています。

日本のモノづくりを支える企業のひとつとして、皆様の技術的課題を長年にわたって蓄積した加工ノウハウと豊富なバリエーションの最新設備によって、これからも様々なご要望に応えていきます。

「モノづくり」でお困りの際は、**「東成エレクトロビーム」**にご相談ください。

副所長　西原　啓三

＜事業所概要・連絡先＞

東成エレクトロビーム株式会社
九　州　事　業　所

進　出　平成２４（2012）年
従業員　７人
所在地　大牟田市四箇新町１-２-４
電　話　0944-31-2211（代表）
Ｆａｘ　0944-31-2200
ＵＲＬ　http://www.tosei.co.jp

大牟田元気企業紹介 Part4

まちなかシリコンバレー

IT技術で商店街の活性化を志す学生起業家たち！

アメリカ合衆国カルフォルニア州北部のサンフランシスコ・ベイエリアの一角が、IT（情報技術）企業の一大拠点として“シリコンバレー”と呼ばれているのは有名なことです。

そして、大牟田市でもIT技術を駆使し、商店街や地域を活性化しようと志す若者の一団が、銀座通商店街アーケード内に*「まちなかシリコンバレー」*を立ち上げました。ここは、銀座通商店街振興組合を中心に、有明工業高等専門学校（有明高専）や佐賀大学の学生、地域の企業の皆様が集い、かつてと異なる方法で「大牟田を元気にしたい！」との思いで運営される“まちづくりの交流拠点”なのです。

いつオープンしたのですか？

平成26年３月に、銀座通商店街振興組合が大牟田市の助成金「大牟田市まちづくり基金」を活用し、商店街の２階建て空店舗を改装しました。

１階を「まちなかシリコンバレー」と名付け、“市民交流サロン”とし、２階を「オフィススペース」として企業を誘致しました。

現在の活用状況は？

建物２階に佐賀市のIT企業の子会社「株式会社ASKプロジェクト」を誘致し、佐賀大院生の野口卓朗氏が副社長として活躍されています。野口氏はまちなかシリコンバレー事務局長でもあり、１階サロンで「ビジネス交流拠点」としての勉強会や「知の拠点」としてのワークショップを定期的に開催されています。

具体的な活動は？

「知の拠点」としては、子供からお年寄まで楽しく学べるワークショップを毎週日曜日の午前中に実施し、「ビジネス交流拠点」としては、「教育・経営勉強会（教経会）」を毎月開催しています。

さらに、有明高専のサテライトオフィスが開設され、毎週月曜と金曜の１４時～１８時にコーディネーターが駐在し、地域の企業を対象に各種相談に応じています。

そして、まちなかシリコンバレーにおいては、新たな企業支援策を検討するため、商工会議所、有明高専、市産業振興課、市地域活性化センターのメンバーが集まり、検討会を開催しているところです。

２階に誘致した㈱ASK プロジェクトでは、有明高専電子情報工学科の学生が長期インターンシップ生として、実践的な技術教育の実証の場として実際に使えるシステムの開発を行っています。既に民生委員・児童委員のサポート用アプリ（ソフト）の開発に携わっているほか、おおむた洋風かつ丼Webページも製作しました。

今後の抱負を？

スマートフォンやタブレット等のIT端末の普及は、凄まじいものがありますが、ビジネスに十分生かされているかと言えば、まだまだ不十分です。

今後は、IT技術と様々な職業を組み合わせたイベント等を通じて、IT技術の活用に理解を持っていただくとともに、この分野で、将来大牟田で活躍してくれる人材を“まちなかシリコンバレー”で育てることができればと思っています。

＜　連　絡　先　＞

所　在　地　大牟田市本町１-３-１７
TEL･ファクス　0944-32-９８０３
e－mail　info@msv.asia
HPアドレス　http://www.msv.asia/
氏　　名　野口　卓朗
職業・役職　佐賀大学大学院在籍
（まちなかシリコンバレー事務局長）
（株式会社ASKプロジェクト副社長）

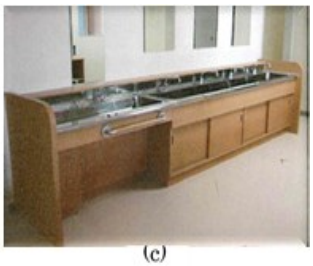
大牟田元気企業紹介 Part5

(有) 大 創 工 芸

自分でデザインしたオリジナル“マイ家具”を持ってみませんか！！

(a)

(b)


(c)

家具といえば大川といわれますが、大牟田にオリジナル創作家具を作っている工場があることをご存知ですか。顧客のニーズに応じた形状や色合いに仕上げます。

(a)は幼稚園の遊戯台、(b)は小学校の洗面台、(c)は身障者用流し台で、車イスのまま安全に炊事をすることができます。そのほか、店舗用什器、学校用のロッカーなど様々な注文家具を手掛けています。社名の***大創工芸***は、***創作家具***が***大きく羽ばたく***ようにとの願いを込めて名付けました。

元気企業紹介 Part5 は、全国的に独創的な創作家具の製造販売を展開している***「有限会社　大創工芸」***です。

会社の歴史を教えて下さい

（打合せ・製作の様子）

千葉県で家具職人として修業しました。お客様は首都圏の人が多く、土地代が高いために変形地に住宅を建設される人も多いのです。当然でき上がった家も様々な形状しており、既製品の家具では納まらないのです。この時代、家の形に応じた多くの創作家具を作りました。

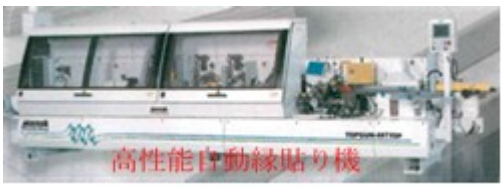
個人の家具職人として昭和５３年に独立し、上官の三池工業高校の向かいで開業しました。平成５年に今の草木に移転したのですが、その頃上官の道路拡張による立退きの話も出ていたのです。しかし、その年の台風で工場が損壊し、立退き交渉の前に移転しなければなりませんでした。

時代とともにお客様も変化してきました。開業当初は、大牟田も景気が良く、喫茶店･カラオケ･スナックなどの新設、百貨店の改装などが盛んでした。これらの店は創作家具を望まれ、ショーケース、カウンター、店舗用什器などが主体でした。

最近は、老人ホーム、介護施設、学校などの公共施設が多くなりました。学校の下駄箱やロッカーなどは生徒数の規模にもよりますが、大型の物が増えてきました。

今は、ほぼ全国の建設業者や内装施工業者からの受注製造・工場渡しというシステムで、我々はもっぱら工場で良い製品を作ることに徹しています。

現況はどうですか？


高性能自動縁貼り機

現在、夫婦と子供３人、職人２人の７名で実施しています。長女がほとんどの事務と営業をやってくれ、私をはじめ息子たちはもっぱら家具作りに専念しています。

公共施設は、予算時期との関係で忙しい時が集中し、しかも縁貼りが多い製品が主体で注文に応じきれない場合もありました。しかし、今年は、国のものづくり助成金を獲得し、高性能の自動縁貼り機を導入中で、これが完成すれば生産量の増加やコストダウンに大きく貢献すると思っています。

今後の抱負を？

創作家具と聞くと高価で近寄り難く思われがちですが、お客様がデザインされた家具が出来上がり、手にされた時に満足して頂くことが最大の喜びです。

私たちは、お客さまが生涯を通して愛着を持って使っていただける、個性に合った独創的な創作家具をリーズナブルな価格で提供していきたいと考えています。

代表取締役　川後田和幸氏

＜　連　絡　先　＞

住地　大牟田市草木 179-3
話　0944-57-8643
ァクス　0944-57-8645
mail：mokusouya@dolphin.ocn.ne.jp